



2019年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月14日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 定時株主総会開催予定日 2019年9月25日 配当支払開始予定日 2019年9月26日
 有価証券報告書提出予定日 2019年9月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期の連結業績 (2018年7月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年6月期 | 5,874 | 4.5 | 19 | △88.3 | 30 | △81.9 | △5 | — |
| 2018年6月期 | 5,620 | △1.1 | 167 | — | 166 | — | 77 | — |

(注) 包括利益 2019年6月期 △5百万円(—%) 2018年6月期 77百万円(—%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2019年6月期 | △1.47 | — | △1.0 | 1.4 | 0.3 |
| 2018年6月期 | 19.07 | — | 14.0 | 7.0 | 3.0 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年6月期 | 2,176 | 555 | 25.5 | 137.28 |
| 2018年6月期 | 2,282 | 590 | 25.9 | 145.72 |

(参考) 自己資本 2019年6月期 555百万円 2018年6月期 590百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2019年6月期 | 120 | △164 | △103 | 625 |
| 2018年6月期 | 239 | △23 | △384 | 772 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2018年6月期 | — | 0.00 | — | 7.11 | 7.11 | 28 | 37.3 | 5.2 |
| 2019年6月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | 12 | — | 2.1 |
| 2020年6月期(予想) | — | 0.00 | — | 8.14 | 8.14 | | 30.0 | |

3. 2020年6月期の連結業績予想 (2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通期 | 6,000 | 2.1 | 140 | 613.6 | 140 | 364.1 | 110 | — |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年6月期 | 5,076,000株 | 2018年6月期 | 5,076,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年6月期 | 1,026,552株 | 2018年6月期 | 1,026,552株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2019年6月期 | 4,049,448株 | 2018年6月期 | 4,049,448株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年6月期の個別業績（2018年7月1日～2019年6月30日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|-----|-----------------------|---|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年6月期 | 2,769 | 3.0 | △28 | — | 25 | △76.8 | 0 | △99.1 |
| 2018年6月期 | 2,689 | 1.1 | 74 | — | 107 | 230.4 | 62 | △10.6 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2019年6月期 | 0.14 | | — | | | | | |
| 2018年6月期 | 15.31 | | — | | | | | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|-------|--|-----|--|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 銭 | | |
| 2019年6月期 | 1,365 | | 504 | | 37.0 | 124.65 | | |
| 2018年6月期 | 1,563 | | 532 | | 34.1 | 131.62 | | |

(参考) 自己資本 2019年6月期 504百万円 2018年6月期 532百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 12 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) | 12 |
| (表示方法の変更) | 13 |
| (会計上の見積りの変更) | 13 |
| (追加情報) | 13 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 17 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、雇用・所得環境は緩やかな回復基調にありました。一方で、米中の貿易摩擦などを背景に中国経済の減速感が強まり、またアジア新興国でも景気減速が懸念されるほか、世界各国の金融市場も不安定な動きを見せるなど、景気の先行きは不透明な状況となりました。

このような状況の中、当社グループは、コア事業（生花祭壇事業）での売上拡大、生花卸売事業における物流のサービス強化と高度化、管理部門の体制強化、周辺事業の水平展開等を重点目標とした、2期目となる中期経営計画に基づき、各施策を実行してまいりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は、ブライダル装花事業においては前年同期比で減少したものの、生花祭壇事業、生花卸売事業、その他の事業においては増加したことから、5,874,866千円(前年同期比4.5%増)、営業利益は、生花祭壇事業における原価率や人件費率の上昇並びにブライダル装花事業における売上減少の影響により、19,619千円(前年同期比88.3%減)、経常利益は30,166千円(前年同期比81.9%減)、親会社株主に帰属する当期純損失は5,939千円(前年同期は77,225千円の利益)となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、3,369,857千円(前年同期比0.1%増)と、3期連続で過去最高を更新しました。厚生労働省「2018年人口動態統計月報年計(概数)の概況」によりますと、年間死亡者数は1,362千人と推計され、前年同様、高齢化社会を背景に増加傾向にあります。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2018年7月から2019年6月までの売上高は横ばい、取扱件数は増加傾向で推移しており、引続き葬儀単価はやや低下しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、特に大都市圏において「家族葬」や「密葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いており、地方都市におきましてもこの傾向が徐々に顕在化しております。

このような状況の中で、当事業では、強みである機動力や顧客ニーズへの対応力を活かすべく、関東・四国・九州エリアへ新たに拠点を展開する等、積極的に各施策を実行し、一定の効果が顕在化した労務比率の改善に続き、仕入原価の更なるスリム化等にも取り組んでまいりました。一方で九州エリアにおける売上の減少並びに、上述の新規拠点開設に伴うコスト増加の影響もあり、営業利益は478,373千円(前年同期比20.4%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っており、前期後半より奏功の兆しが見えはじめ、当期において顕在化いたしました。

この結果、売上高は1,649,424千円(前年同期比16.6%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2019年6月)によると、2018年7月から2019年6月までの切花累計の取扱金額は56,662百万円(前年同期比1.1%増)、数量では839百万本(前年同期比2.5%減)と金額ベースでは増加、数量ベースでは減少の傾向にありました。

このような状況の中で、当事業では前期に引続き、従来の生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力しているものの、当第2四半期の後半において輸入卸売部門における利益率が低調に推移したため、営業利益は19,627千円(前年同期比19.1%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、395,855千円(前年同期比3.2%減)となりました。少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウエディングやレストラン・ウエディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、未だ大きな市場規模が保持されております。このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける新規顧客獲得と商圏拡大、リテール部門での更なる売上増、及び販管費の圧縮・効率化策を実施しておりますが、前述の影響をカバーするには至らず、営業損失は2,051千円(前年同期は15,769千円の利益)となりました。

(その他)

その他の事業は、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当連結会計年度においては、黒字化には至らなかったものの、各事業ともに対前期比では総じて堅調に推移したため、売上高は459,728千円（前年同期比6.8%増）、一方で当第2四半期より連結の範囲に含めた農業部門における損失の影響により、営業損失は23,664千円（前年同期は18,631千円の損失）となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の売買や賃貸等の仲介及び管理を行っております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ105,306千円減少し、2,176,988千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ71,149千円減少し、1,621,072千円となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ34,157千円減少し、555,916千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末の25.9%から25.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ147,278千円減少し、625,380千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、営業活動の結果得られた資金は120,020千円（前年同期は239,912千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益14,363千円、減価償却費60,002千円、及び売上債権の減少187,982千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、投資活動の結果使用した資金は164,273千円（前年同期は23,571千円の使用）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出136,640千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、財務活動の結果使用した資金は103,411千円（前年同期は384,316千円の使用）となりました。これは主に、借入金の純減48,103千円、配当金の支払28,791千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社は、2018年6月期を初年度とする中期経営計画を掲げており、最終年度となる2020年6月期におきましても、その達成へ向けグループ一丸となって取り組んでまいります。当計画におきましては、コア事業である生花祭壇事業における売上拡大、生花卸売事業における物流サービスの強化と高度化、管理部門における能力強化等に注力することとしております。

以上により、通期連結業績見通しといたしましては、売上高6,000,000千円（前年同期比2.1%増）、営業利益140,000千円（前年同期比7.1倍）、経常利益140,000千円（前年同期比4.6倍）、親会社株主に帰属する当期純利益は110,000千円（前年同期は5,939千円の損失）を予想しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社のIFRS（国際財務報告基準）の適用動向等を踏まえ、IFRS（国際財務報告基準）の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年6月30日) | 当連結会計年度 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 772,659 | 625,380 |
| 売掛金 | 559,125 | 507,702 |
| 商品 | 19,331 | 21,977 |
| 仕掛品 | 2,518 | 5,065 |
| 原材料及び貯蔵品 | 29,921 | 40,519 |
| その他 | 67,758 | 53,060 |
| 貸倒引当金 | △12,338 | △9,901 |
| 流動資産合計 | 1,438,976 | 1,243,804 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 485,735 | 618,641 |
| 減価償却累計額 | △231,820 | △253,902 |
| 建物及び構築物(純額) | 253,914 | 364,739 |
| 車両運搬具 | 30,548 | 30,819 |
| 減価償却累計額 | △20,034 | △23,910 |
| 車両運搬具(純額) | 10,513 | 6,908 |
| 工具、器具及び備品 | 163,216 | 160,435 |
| 減価償却累計額 | △147,209 | △140,296 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 16,007 | 20,138 |
| 土地 | 217,004 | 232,103 |
| 建設仮勘定 | 7,521 | 8,154 |
| その他 | 11,065 | 15,066 |
| 減価償却累計額 | △5,373 | △8,070 |
| その他(純額) | 5,691 | 6,996 |
| 有形固定資産合計 | 510,653 | 639,040 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 10,626 | - |
| その他 | 50,504 | 34,017 |
| 無形固定資産合計 | 61,131 | 34,017 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 62,239 | 52,280 |
| 繰延税金資産 | 21,396 | 22,670 |
| 保険積立金 | 148,972 | 167,593 |
| 破産更生債権等 | 149,769 | 13,210 |
| その他 | 31,978 | 15,237 |
| 貸倒引当金 | △142,821 | △10,865 |
| 投資その他の資産合計 | 271,534 | 260,126 |
| 固定資産合計 | 843,319 | 933,184 |
| 資産合計 | 2,282,295 | 2,176,988 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年6月30日) | 当連結会計年度 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 159,065 | 145,336 |
| 短期借入金 | 100,000 | 70,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 331,955 | 287,183 |
| 1年内償還予定の社債 | 7,100 | 7,100 |
| 未払金 | 92,274 | 88,199 |
| 未払法人税等 | 27,211 | 5,141 |
| 未払費用 | 107,623 | 115,421 |
| 賞与引当金 | 8,197 | 10,313 |
| 資産除去債務 | - | 11,650 |
| その他 | 131,892 | 108,858 |
| 流動負債合計 | 965,320 | 849,202 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 28,700 | 21,600 |
| 長期借入金 | 595,214 | 658,883 |
| リース債務 | 38,492 | 25,507 |
| 退職給付に係る負債 | 52,623 | 54,328 |
| 資産除去債務 | 10,848 | 11,549 |
| その他 | 1,021 | - |
| 固定負債合計 | 726,900 | 771,869 |
| 負債合計 | 1,692,221 | 1,621,072 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 213,240 | 213,240 |
| 資本剰余金 | 142,056 | 142,056 |
| 利益剰余金 | 463,398 | 429,274 |
| 自己株式 | △228,633 | △228,633 |
| 株主資本合計 | 590,060 | 555,936 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13 | △19 |
| その他の包括利益累計額合計 | 13 | △19 |
| 純資産合計 | 590,073 | 555,916 |
| 負債純資産合計 | 2,282,295 | 2,176,988 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 5,620,477 | 5,874,866 |
| 売上原価 | 4,465,760 | 4,858,235 |
| 売上総利益 | 1,154,716 | 1,016,631 |
| 販売費及び一般管理費 | 987,141 | 997,012 |
| 営業利益 | 167,575 | 19,619 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 404 | 322 |
| 受取賃貸料 | 1,474 | 2,318 |
| 補助金収入 | 9,501 | 3,635 |
| 保険返戻金 | 4,931 | 1,700 |
| 為替差益 | 9,155 | 5,501 |
| その他 | 8,630 | 10,037 |
| 営業外収益合計 | 34,097 | 23,514 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15,001 | 11,083 |
| 貸倒引当金繰入額 | 11,104 | - |
| その他 | 9,074 | 1,884 |
| 営業外費用合計 | 35,180 | 12,967 |
| 経常利益 | 166,492 | 30,166 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 5,274 | - |
| 子会社株式売却益 | - | 193 |
| 特別利益合計 | 5,274 | 193 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 1,677 | 487 |
| リース解約損 | 3,037 | 113 |
| 減損損失 | 24,397 | 15,254 |
| 関係会社株式評価損 | - | 140 |
| 特別損失合計 | 29,111 | 15,996 |
| 税金等調整前当期純利益 | 142,654 | 14,363 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 45,758 | 22,852 |
| 法人税等調整額 | 19,670 | △2,549 |
| 法人税等合計 | 65,428 | 20,302 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | 77,225 | △5,939 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | 77,225 | △5,939 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益又は当期純損失 (△) | 77,225 | △5,939 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5 | △33 |
| その他の包括利益合計 | 5 | △33 |
| 包括利益 | 77,230 | △5,972 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 77,230 | △5,972 |
| 非支配株主に係る包括利益 | - | - |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------------------|---------|---------|---------|----------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 213,240 | 142,056 | 386,172 | △228,633 | 512,834 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | - |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | 77,225 | | 77,225 |
| 連結範囲の変動 | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | 77,225 | - | 77,225 |
| 当期末残高 | 213,240 | 142,056 | 463,398 | △228,633 | 590,060 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------------|--------------|---------------|--------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 8 | 8 | 5,274 | - | 518,116 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | - |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | | 77,225 |
| 連結範囲の変動 | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 5 | 5 | △5,274 | - | △5,269 |
| 当期変動額合計 | 5 | 5 | △5,274 | - | 71,956 |
| 当期末残高 | 13 | 13 | - | - | 590,073 |

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------------------|---------|---------|---------|----------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 213,240 | 142,056 | 463,398 | △228,633 | 590,060 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △28,791 | | △28,791 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △5,939 | | △5,939 |
| 連結範囲の変動 | | | 606 | | 606 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | △34,124 | - | △34,124 |
| 当期末残高 | 213,240 | 142,056 | 429,274 | △228,633 | 555,936 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------------|--------------|---------------|-------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 13 | 13 | - | - | 590,073 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △28,791 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | | △5,939 |
| 連結範囲の変動 | | | | | 606 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △33 | △33 | - | - | △33 |
| 当期変動額合計 | △33 | △33 | - | - | △34,157 |
| 当期末残高 | △19 | △19 | - | - | 555,916 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 142,654 | 14,363 |
| 減価償却費 | 48,415 | 60,002 |
| 新株予約権戻入益 | △5,274 | - |
| 減損損失 | 24,397 | 15,254 |
| のれん償却額 | 20,219 | 10,626 |
| 保険返戻金 | △4,931 | △1,700 |
| 補助金収入 | △9,501 | △3,635 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 10,502 | △134,392 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 7,041 | 2,115 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 6,868 | 1,705 |
| 受取利息及び受取配当金 | △404 | △322 |
| 受取賃貸料 | △1,474 | △2,318 |
| 支払利息 | 15,001 | 11,083 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 1,677 | 487 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △64,340 | 187,982 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △3,106 | △15,790 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 20,831 | △13,729 |
| その他 | 78,916 | 39,471 |
| 小計 | 287,491 | 171,201 |
| 利息及び配当金の受取額 | 408 | 329 |
| 賃貸料の受取額 | 1,474 | 2,318 |
| 補助金の受取額 | 9,501 | 3,635 |
| 利息の支払額 | △13,839 | △11,310 |
| 法人税等の支払額 | △45,123 | △46,153 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 239,912 | 120,020 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|--------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 | - | △10,195 |
| 貸付けによる支出 | △16,651 | - |
| 貸付金の回収による収入 | 16,776 | 378 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △17,609 | △136,640 |
| 保険積立金の積立による支出 | △18,621 | △18,621 |
| 保険積立金の解約による収入 | 4,931 | 1,700 |
| 差入保証金の差入による支出 | △3,697 | △6,957 |
| 差入保証金の回収による収入 | 11,289 | 6,059 |
| その他 | 10 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △23,571 | △164,273 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 16,500 | △30,000 |
| 長期借入れによる収入 | - | 500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △369,259 | △518,103 |
| 社債の償還による支出 | △7,100 | △7,100 |
| 配当金の支払額 | - | △28,791 |
| その他 | △24,457 | △19,416 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △384,316 | △103,411 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △167,975 | △147,663 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 940,634 | 772,659 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | - | 385 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 772,659 | 625,380 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第4四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2018年6月30日)

1. 配当金支払額

無配のため、該当事項はありません。

2. 基準日が当第4四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第4四半期連結会計期間の末日後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 配当の原資 | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------|-------------|------------|------------|
| 2018年9月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 28,791 | 利益剰余金 | 7.11 | 2018年6月30日 | 2018年9月28日 |

当第4四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------------|------------|------------|
| 2018年9月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 28,791 | 7.11 | 2018年6月30日 | 2018年9月28日 |

2. 基準日が当第4四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第4四半期連結会計期間の末日後となるもの

| 決議予定 | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 配当の原資 | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------|-------------|------------|------------|
| 2019年9月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 12,148 | 利益剰余金 | 3.00 | 2019年6月30日 | 2019年9月26日 |

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました株式会社アグリフラワーにつきましては、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、当連結会計期間において100%子会社であったビイケイエステートは、2019年5月31日付で全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「流動負債」の「その他」に含めていた「未払費用」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた239,516千円は、「未払費用」107,623千円、「その他」131,892千円として組み替えております。

(会計上の見積りの変更)

当事業年度において、当社の大阪支店の不動産賃貸借契約に基づく退去時における原状回復義務に係る資産除去債務について、原状回復費用、使用見込期間に関して見積りの変更を行いました。

また、資産除去債務の計上については、従来、負債計上に代えて不動産賃貸契約に関連する敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、当事業年度の負担に属する金額を費用に計上する方法によっておりましたが、当事業年度より、原状回復費用を資産除去債務として負債計上することといたしました。

これは、当事業年度において、原状回復費用の総額が敷金の総額を上回ることとなり、従来の方法によることが認められなくなったことによるものであります。

これにより、当事業年度において資産除去債務を10,000千円計上しております。なお、見積りの変更による影響額は軽微であります。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に冠婚葬祭の生花に係わる事業活動を展開している構成単位を集計し「生花祭壇事業」、「生花卸売事業」、「ブライダル装花事業」の3つを報告セグメントとしております。

各事業の概要は下記のとおりであります。

生花祭壇事業 : 生花祭壇、供花等、葬儀における生花を使用した商品を制作して販売する事業

生花卸売事業 : 自社の祭壇事業で使用する生花の仕入及び葬儀関連会社の生花部や生花小売店に対して、生花を販売する事業

ブライダル装花事業 : 婚礼用の会場装花やブーケ制作をして販売する事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|------------|---------------|-----------|--------------|--------------|----------------------------|
| | 生花祭壇 事業 | 生花卸売 事業 | ブライダル 装花事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,366,565 | 1,414,685 | 408,733 | 5,189,984 | 430,493 | - | 5,620,477 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5,939 | 811,001 | 2,613 | 819,554 | 5,172 | △824,727 | - |
| 計 | 3,372,505 | 2,225,687 | 411,346 | 6,009,539 | 435,665 | △824,727 | 5,620,477 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 600,704 | 24,246 | 15,769 | 640,721 | △18,631 | △454,514 | 167,575 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 8,218 | 1,380 | 1,806 | 11,406 | 9,875 | 27,134 | 48,415 |
| のれんの償却額 | 4,359 | - | 5,233 | 9,592 | 10,626 | - | 20,219 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業並びに就労継続支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△454,514千円には、セグメント間取引消去50,255千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△504,769千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の開示を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|------------|---------------|-----------|--------------|--------------|----------------------------|
| | 生花祭壇 事業 | 生花卸売 事業 | ブライダル 装花事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,369,857 | 1,649,424 | 395,855 | 5,415,138 | 459,728 | - | 5,874,866 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 7,008 | 845,621 | 2,323 | 854,952 | 18,432 | △873,385 | - |
| 計 | 3,376,865 | 2,495,045 | 398,179 | 6,270,090 | 478,161 | △873,385 | 5,874,866 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 478,373 | 19,627 | △2,051 | 495,949 | △23,664 | △452,666 | 19,619 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 11,591 | 1,167 | 1,614 | 14,373 | 12,351 | 33,276 | 60,002 |
| のれんの償却額 | - | - | - | - | 10,626 | - | 10,626 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△452,666千円には、セグメント間取引消去44,455千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△497,122千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の開示を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位：千円)

| | 生花祭壇 事業 | 生花卸売 事業 | ブライダル 装花事業 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|------------|------------|---------------|--------|-------|--------|
| 減損損失 | 7,218 | — | 4,088 | 13,090 | — | 24,397 |

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

| | 生花祭壇 事業 | 生花卸売 事業 | ブライダル 装花事業 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|------------|------------|---------------|-------|-------|--------|
| 減損損失 | 10,676 | — | — | 4,577 | — | 15,254 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位：千円)

| | 生花祭壇 事業 | 生花卸売 事業 | ブライダル 装花事業 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|-------|------------|------------|---------------|--------|-------|--------|
| 当期末残高 | — | — | — | 10,626 | — | 10,626 |

(注) 1. 「その他」の金額は、システム開発事業に係るものであります。

2. のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|-------------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 145円72銭 | 137円28銭 |
| 1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) | 19円07銭 | △1円47銭 |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | — | — |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|--|--|--|
| 1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)(千円) | 77,225 | △5,939 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)(千円) | 77,225 | △5,939 |
| 期中平均株式数(株) | 4,049,448 | 4,049,448 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要 | — | — |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。